

第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和元年5月20日（月曜日） 18時30分から20時00分
- 2 場 所 本庁舎 1階職員休憩室
- 3 出席者 （委員）
石川かず子、石川淳、小山裕紀子、田中幸男、中沢清、豆田和子
（事務局）
岡田弘喜（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、
堂垣祐介（地域課地域係主任）
（欠席者）
井上祐輔、小松揚明
- 4 議 題
 - 1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について
 - 2 正副委員長の互選
 - 3 令和元年度の方針について
 - 4 その他
- 5 配布資料
 - 1 次第
 - 2 推進委員会年間スケジュール
 - 3 協働フォーラム2019資料
 - 4 瑞穂町協働のまちづくり推進委員名簿
 - 5 協働フォーラムアンケート結果
- 6 開会
岡田地域課長
- 7 委嘱状交付
地域課長から代表者の前副委員長中沢清氏に委嘱状が交付されました。
（他の委員については机上配布）
- 8 自己紹介
- 9 議題1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について
資料の確認及び説明（資料1）
資料1により、年間の会議日程を示し、基本的に2ヶ月に1回の頻度で会議を開催する予定です。ただし、会議が年間6回で足りない場合には特定の案件に特化した作業部会を開催することも可能です。
今までの主な活動として、協働事業提案書やガイドラインを策定し、仕組みづく

りを進めてきたので、今後どのように協働推進をしていくのかを、この会議で話していこうと考えています。また、事務局としては、周知啓発の一環としてフォーラムは継続していきたいと思っています。

議題2 正副委員長の互選

委員長に中沢清氏、副委員長に小山裕紀子氏に就任いただきました。

正副委員長の挨拶

議題3 令和元年度の方針について

資料の確認及び説明（資料2）

資料2により、前回のフォーラムの分析を行い、今後どのように協働を推進していくかを検討する。

協働フォーラム2018について

- ・参加者は72名で、微増傾向にある。
- ・前回と異なる部分は、専門講師による基調講演がなかったことで、全て推進委員会が主体となり実施した。
- ・アンケートの回収率が低かった。72名中17枚という結果で、終了と同時に出口で声掛けをするなど、改善が必要。
(アンケート結果からの考察)
- ・フォーラムを知ったきっかけとして一番多かったのは、「友人・知人からの紹介」で、これは委員の周知の仕方が上手く、町としては今まで以上に周知に力を入れていかなければならない。
- ・フォーラムの参加回数について、はじめて参加したという方が多数を占めていたので、より広く周知できた。
- ・参加理由について、「事例発表のテーマに興味があった」という回答が多数であり、フォーラムの内容に問題はなく、委員の事例発表は続けていくべきだと考えている。
- ・フォーラムの構成について、専門講師による基調講演を望む意見が多数であったが事務局としては、トップバッターの小松委員が協働の説明を盛り込んでくれたので、問題なかったような印象を受けた。また、「委員による活動紹介の発表」も多数を占めていて、フォーラムの魅力の一つであり、これを目的に来る方も多いと思いますので、引き続き行っていきたい。
- ・「フォーラムで活動紹介を行ってみたいですか」という質問をしてみました。多くの方ができないという回答でした。ただ、発表してみたいという意見も少数ですが、ありましたので、このようにボランティアや協働に興味がある方々を取り込んでいけたら協働が広がっていくのではないかと考えています。
- ・フォーラムの感想について、「継続してフォーラムを開催してほしい」という意見が多く、続けていくことに意味があるのかなと思っています。
- ・自由意見では、活動発表の継続的な成果や動向を気にしている方が多数おり、興味

を示してくれている、反面、関係者以外の来場者を増やした方が良いという意見や協働に関する総括的な講演があったほうが良いという意見も見受けられた。

- ・アンケート結果から考察すると、委員の声掛けで集客することが出来ていて、別の様々な方法で周知することが必要である。また、基調講演を望む意見が比較的多かったので、次回に向けて検討が必要である。
- ・事務局は、近隣市の情報収集や専門講師の選別等を引き続き行っていく。

委員の意見

- ・フォーラムの参加者は関係者が多いと感じていましたが、テーマが協働ということでどうしても「協働」という言葉が先行してしまうので難しい印象を受けてしまう。ただ、アンケート結果からフォーラムを継続してほしいという意見が多いので、続ける意味はあると思いました。あとは、フォーラムを開催して、人を待つのではなく、人が集まるイベント等に参加してPRすることも重要なかなと思いました。(小山)
- ・前はつるし雛がピークの時期に開催したので、お客さんも協働に来てくれる雰囲気はなかったですが、今回は時期的に良かったので、もし同じ場所でやるなら今回のようなやり方で開催したい。アンケートにもあるように、活動の進捗に興味があるので、継続して毎回発表してもいいと思います。また、現在委員が行っている活動に他の委員が参加することで人に発信しやすくなると思います。(田中)
- ・基調講演がなくても小松委員が分かりやすく協働を説明していたので、良いと思いました。事務局からも話がありましたが、もう少し小松委員と一緒に事務局が話をする時間があっても良かったと思いました。(豆田)
- ・役場がどのように支援するのか、また、具体的事例を紹介してどのように動いたのかを説明したら聞いている方はわかりやすかったのかなと思いました。(石川かず子)
- ・子供連れでも参加しやすい空気を作りたいなと思います。バスケットボール連盟、ヒッポファミリークラブ、高根市、平地林の整備活動などのブースには子どもや家族連れが多いけれど、フォーラムには子供連れが少なかったので、参加しやすい環境を考えていければなと思います。例えば、会場に子どもスペースを作り、折り紙や絵本やぬり絵などが用意してあることで、子どもはそこで遊んでいて、親はフォーラムで活動を聞くことができるようになります。(石川淳)

議題4 その他

- ・協働事業の新規事業はないが、フォーラム後、資料を見たいという問合せが1件あり、フォーラムもしくは協働に興味がある方がいた。
- ・フォーラムアンケートに、「活動発表をしてみたい」や「推薦したい団体」がいるという回答があったが、具体的な団体名や連絡先等がなく、特定することはできなかった。発表してみたいということは、既に活動しているか、もしくは、何かをやっ

ていこうというプランがあるはずなので、こういった方を取り込んでいけたら、フォーラムが新鮮なものになるのではないかと。

次回委員会は令和元年8月2日18時30分から、本庁舎1階会議室で開催予定。